ファミリ会会員外秘

語りあう夢、きそいあう知恵
FUJITSU ファミリ会

FUJITSU ファミリ会 2019 年度

海外セミナー(中国)報告書

―於：深圳(シンセン)、香港―

ファミリ会会員外秘

目　次

目　次 0

Ⅰ．日程表 1

Ⅱ．団長の挨拶 2

Ⅲ．視察報告 4

１．深圳車元素有限公司 4

２．　赤湾東方物流有限公司 8

３．　中国太平洋保険深圳分公司 10

４．　SWIVEL 社 14

Ⅰ．日程表

月日		発着地／滞在地	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	6/03 （月）	東京(羽田) 国際線ﾀｰﾐﾅﾙ集合 東京(羽田)発 香港着	08:00 10:35 14:20 16:30 夜	 CX543 高速船& 専用ﾊﾞｽ	羽田空港 国際線ターミナル集合 手続き終了後、08:30　より結団式 空路、香港へ【所要時間：4 時間 45 分】 着後、高速船で深圳港に移動 港でバスに乗り換え 夕　食『金碧軒海鮮大酒楼/海鮮・広東料理』 （深圳 泊）	昼：機内 夜：ﾚｽﾄﾗﾝ
2	6/04 （火）	深圳滞在	8:45 9:45 14:00 夜	 専用ﾊﾞｽ 専用ﾊﾞｽ	ホテル発 視察１：『深圳車元素有限公司 （ICT サービス企業）』 昼　食『金谷１号海鮮酒楼/飲茶』 視察２：『赤湾東方物流有限公司 （運送会社）』 夕　食『潮香四海(南海店)/郷土料理』 （深圳 泊）	朝：ﾎﾃﾙ 昼：ﾚｽﾄﾗﾝ 夜：ﾚｽﾄﾗﾝ
3	6/05 （水）	深圳 → 香港	9：00 9:45 午後 夜	 専用ﾊﾞｽ 専用ﾊﾞｽ	ホテル発 視察３：『中国太平洋保険深圳分公司 （損害保険企業）』 昼　食『巴蜀風(華僑城店)/郷土料理』 香港に移動 夕　食『翠韻軒/中華料理』　（香港 泊）	朝：ﾎﾃﾙ 昼：ﾚｽﾄﾗﾝ 夜：ﾚｽﾄﾗﾝ
4	6/06 （木）	香港滞在	8:30 9:30 午後 夜	 専用ﾊﾞｽ	ホテル発 視察４：『SWIVEL 社 （ソフトウェア企業）』 昼　食『Ron's Kitchen 朗厨坊』 現地事情視察（iSQUARE 等） 夕　食『鯉魚門・海徳花園酒家/海鮮料理』 （香港 泊）	朝：ﾎﾃﾙ 昼：ﾚｽﾄﾗﾝ 夜：ﾚｽﾄﾗﾝ
5	6/07 （金）	香港滞在 香港発 東京(羽田)着	午 前 16:20 21:35	専用ﾊﾞｽ CX542	現地事情視察［ガーデンオブスターズ、黄大仙、香港歴史博物館］ 視察後、空港に移動 空路、帰国の途へ【所要時間:4 時間 15 分】 羽田空港到着　通関手続を済ませ、解散	朝：ﾎﾃﾙ 昼：各自 夜：機内

□添　乗　員：日通旅行㈱ 団体営業部　野田（のだ） 泰基（たいき）

□同行事務局：富士通㈱　カスタマーリレーション部　鈴木（すずき） 誠一郎（せいいちろう）

□往復航空便：キャセイパシフィック航空

□宿泊ホテル：深圳：Best Western Shenzhen Felicity Hotel (最佳西方富臨大酒店)
住所：1085 Heping Road, Shenzhen, Guangdong, 中国 518010

香港：Holiday Inn Golden Mile Hong Kong (香港金域假日酒店)
住所：50 Nathan Rd, Tsim Sha Tsui, 香港

Ⅱ．団長の挨拶

JX アイティソリューション株式会社
常勤顧問　　内　田　　悟

2019 年度のファミリ会海外セミナー（中国）の団長を務めさせていただきました。総勢 30 人（会員 28 名、事務局 1 名、添乗員 1 名）で羽田空港国際線ターミナルに 6 月 3 日の朝集合して結団式を行った後、キャセイパシフィック機にて中国（香港）に向けて出発しました。現地は亜熱帯性気候で、気温３０℃を超え、湿度も高く、日本の梅雨明けを先取りしたような状態でした。香港空港に到着後、高速船で深圳港に移動し、またバスに乗り換えてようやく夕刻にホテルに到着できました。

深圳で早速驚かされたのは、タクシーがほとんどＥＶ（電気自動車）であり、その製造会社が深圳育ちのＢＹＤであるということでした。ＥＶは車両のナンバープレートの色が緑で、化石燃料駆動の車両は青ではっきりと区別されていました。国主導で環境問題に取り組む姿勢の強さとスピード感を感じました。また、国の政策で特区として急成長を遂げている深圳の勢いを感じました。最近は製造業からＩＴにシフトして急成長してきており、平均年令も 32 才と若く、北京や上海とは異なった特徴的な都市であると感じました。

【写真：青と白の塗装の左側の車両がＥＶのタクシーで緑のナンバープレート、
右のガソリン車と思われる車は青いナンバープレート】

また、現地の生鮮食料品の市場では、ちょうど食べごろになったライチやバナナが売られていましたが、出店している農家の人らしい方々との取引も、バーコードによるスマホ決済でしか料金を支払うことができない状況でした。聞いてはいましたが、本当にキャッシュレス取引が浸透している現実を目の当たりにしました。

【写真：素朴な市場の風景ですが、キャッシュレスです】

海外セミナーの後半は香港に戻って、香港の技術者育成の支援体制、研究開発体制、イノベーション創出支援体制などを Hong Kong Science Park にて説明を受けました。

香港政府の豊かな経済状況を背景に東洋のシリコンバレーを志向して頑張っている姿は印象的でした。ライバルは東京、ニューヨーク、サンフランシスコの 3 つのベイエリアとのことです。

香港は深圳とは大きく異なり、世界有数の観光地でもあるので、雰囲気は華やかでした。

夜は午後８時になると香港島サイドがライトアップを 10 分間だけ特別に演出してくれます。九龍半島側から見るその夜景は本当に素晴らしく、見事なものでした。

【写真：香港島の光と音のショー
「シンフォニー・オブ・ライツ」】

昨年も申し上げたことですが、海外セミナーに参加してくださったメンバーが、それぞれの業務や職場に反映できそうな新たな発見や気づきを一つ、個人として心の中に驚きや感動を一つ持って帰ることができればセミナー参加の最大の成果だと思います。

今後もファミリ会活動の中で、会員各社のグローバル人材育成の機会として、また、会員のグローバル感覚の醸成の機会として、ファミリ会海外セミナーの企画を活用していただければ誠に幸いです。

末筆ではありますが、いつも企画を支えていただいていますファミリ会事務局と今回お世話になった野口様、松沢様、そして日通旅行の皆様に心から感謝申し上げます。また、視察の際にお世話になりました関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

2019 年 6 月

Ⅲ．視察報告

１．深圳車元素有限公司

□日　時：2019 年 6 月 4 日(火) 9:45～11:45

□場　所：南山区龙珠七路中爱大厦七楼
　　(深圳四海信息科技有限公司)

□企業概要：
　深圳市で 2004 年に設立された IT ベンチャー企業。
　主に先進運転支援システム(ADAS)や、ドライバーの疲労、居眠り運転の監視・警告を行うドライバーモニタリングシステム(DMS)の車載機およびクラウドベースのプラットフォーム開発、サービス提供を行う。

深圳市内の高層ビル群

深圳車元素有限公司
のオフィスビル

□視察内容＆質疑応答

(1) 会社紹介

- 2004 年設立。同年に国家ハイテク企業認定を受ける
- 2009 年に mobileye 社の中国代理店となり ADAS 中国普及に貢献
- 2015 年に長安大学深圳 R&D 開発センターを設立し、独自の自動車セキュリティシステムを開発。また、中国太平洋保険深圳分公司と戦略的パートナーシップを締結。
- 2016 年に ADAS プラットフォームを開発、翌年、輸送トラックやバスなどの大型車向けを中心に、ADAS サービスを提供開始。
- 2018 年にカメラによる疲労検知システムを開発。

(2) 事故防止ソリューション

- 自動車事故の約 8 割はヒューマンエラーが原因、うち 6 割は疲労によるものだが、車元素が提案する事故防止ソリューションは下記の 3 点。
  ①車載器によるドライバーの不安全行動への警告と情報蓄積
  ②車輌安全管理プラットフォームによるドライバー分析と評価
  ③安全コンサルティング、トレーニング等ドライバー教育

ADAS 全体イメージ

・前方衝突警報システム ADAS(Advanced Driving Assistant System)は、前方カメラや各種センサー(GPS、レーダー、レーザー、超音波)、通信モジュールによって構成されており、車輌の走行情報を遠隔監視と分析のためクラウドシステムへ転送している。また車線逸脱検知や、前走車との車間距離計測、速度標識からの制限速度超過を検知しており必要に応じてリアルタイムでドライバーへ警告を行う。

車間距離の監視画面

・DMS 疲労検知システム(Driver Monitoring System)は、赤外線カメラでドライバーの顔を判定し、目を閉じ、下を向くといった居眠り運転、あくび、喫煙、携帯電話使用、わき見、不正なカメラ目隠し、身代わり運転、また長距離運行でのドライバー交代が確実に行われたかを検知する。

ドライバー監視カメラ画像

・BSD 死角検知システム(Blind Spot Detection)は、カメラやセンサーで右折時の巻き込み防止(中国は左ハンドルのため右側が死角となりやすい)、車線変更およびバック時の後方障害物検知を行う機能。

・車載器から取得されたデータをクラウド上で収集しビッグデータ化、車輌安全管理プラットフォームによって管理者(運送会社管理部門等)に分析結果を提供、安全管理やドライバーの評価に活用。また、収集データを基にコンサルティングやドライバーへの研修などを行う事によって安全意識を高めることが可能。

・これらの ADAS 機能を日本と比較して約 3 分の 1 の価格で提供し、ユーザー企業は損害保険料の削減というメリットもある

(3) インテリジェント交通（インテリジェント交通 3.0）

・インテリジェント交通とは次の 5 つの管理機能。

①タクシー管理

②駐車管理

③安全管理(先の事故防止ソリューション)

④充電管理(EV 向け充電スタンドの管理)

⑤走行管理

これら全てをインターネットで繋ぎ情報の蓄積、ビッグデータ化、AI 分析によって未来の運行管理システムを目指している。

(4) インテリジェントタクシーシステム

・深圳市の交通安全委員会向けにタクシー管理システムを提供しており、深圳市内の約 2 万台のタクシー位置や乗車中/空車状況の確認が可能、更に 1 時間後の需給予測マップにて需要の高い地域へのタクシーの誘導を行っている。

・DMS を利用し、ドライバーの替玉防止や事故防止に繋げている

・今後、当システムを中国全域に展開することを目指す

深圳市内のタクシー位置状況
(赤色が乗車中、緑色が空車)

(5) インテリジェント駐車システム

・深圳市内の駐車場、駐車スペースの路上に専用センサーを埋め込み、駐車場の空き状況を情報提供しており、ドライバーはスマホアプリで駐車場の空き状況、駐車料金などの情報から駐車場を選定することが可能。

・駐車違反防止や渋滞緩和することが狙い

・センサー端末はバッテリー稼働し、3～5 年間稼働、またバッテリー切れも監視システムにて検知することができる。

深圳市内の駐車場空き状況画面

路面に埋め込むセンサー

路面に埋め込まれたセンサー

□質疑応答

Q:ADAS の費用感は？

A:車載器　5 万円/SET（初年度プラットフォーム使用料含む）

　プラットフォーム使用料　1 万円/年間(2 年目以降)　※別途通信料

Q:(駐車場)空きの多い時間帯に料金を下げるなどプライス変化はシステムでやってないのか？

A:駐車料金はオーナーが決めているのでプラットフォームとしては空き情報のみ提供している。

Q:深圳市におけるエンジニアの所得水準は？

A:レベルにもよるが PG で(年収)20～30 万元

Q:優秀な人材の集め方は？

A:会社文化(魅力)や収入、福利厚生の充実を伝えるようにしている。

□所感

法人向けの従業員による交通トラブル対策としてとても有効なシステムだと感じた。コーディネーターの松澤氏によると、ハードウエアを車両に設置するには整備士が行う必要はあるものの、車種に制限はないとのことであり、導入のハードルも低い様子であった。

深圳全体の話であるが、街中に交通監視のための監視カメラを導入し（ファーウェイ製とのこと）、深圳を実験場として交通事故軽減に官民一体となって取り組んでいるとのことで、中国のほかの都市（大連、上海)と比べても交通マナーは格段に良い印象だった。そのような環境下で、政策の後押しもあって普及が進んでいきそうな予感がした。また、1 台あたりの導入コストが数万円と非常に安価である割に性能が良いとのことで、中国国内はもとより海外にも展開できるのではないかと感じた。

運輸交通事業に携わる立場としては、特に ADAS の仕組みは大変参考になる事例であり、国内のドライバー不足や高齢化が深刻化の一途をたどる中、ADAS は今後この業界でハンドルを握る者にとって欠かせないものとなるであろう。

深圳車元素有限公司はインテリジェントタクシー、インテリジェント駐車など深圳全体への ICT サービスやプラットフォームの展開、ビッグデータの活用など、様々なことに挑戦しており、勢いと柔軟な発想を兼ね備えた企業だと感じた。また、それらの取り組みに挑戦できる国の支援もあり、近年の中国の急成長の理由が垣間見えた。経済特区となってわずか 40 年で人口 3 万人の漁村から 1400 万人のハイテク都市になった深圳、この統率力とスピード感は脅威を感じざるをえない。

2．赤湾東方物流有限公司

□日　時：2019 年 6 月 4 日(火) 14:00～16:00

□住　所：南山区赤湾六路八号赤湾总部大厦

□企業概要：

1986 年に設立された「中国南山グループ」の国営物流会社。南山グループは、港湾、海運、海上石油サービス、物流サービス、不動産開発の事業を展開しており、深セン赤湾港の広大なエリアを中心に発展している。赤湾東方物流は、中国全土に約 5,000 台のトレーラー、3200 人以上の社員を保有しており、車両監視システムを積極的に導入することにより、2016 年以降、事故率を 50%以上削減するなど、自動車事故の防止に力を入れている企業である。

□視察内容＆質疑応答

中国南山グループの資料館にて、鄧小平氏が推進した改革解放政策とグループ創業から 32 年間の発展の歴史、改革開放政策の外資合弁企業第 1 号との説明を受ける。

赤湾港は、山地を崩し平地化し、残土を埋め立てに利用することで整備され発展してきた。現在では 20,000TEU 超のコンテナ船の停泊も可能な港に整備され、深セン全体でコンテナ取扱量が世界第 3 位になっている。

赤湾東方物流本社にて、全車両を一元管理している「車両監視システム」のオペレータ施設を視察。車両に設置された 3 つの車載器により以下の監視を実現している。

(1) GPS による車両、貨物監視。

(2) ADAS（先進運転支援システム）によるドライバーの疲労状態、異常な運転操作、不正な運転行為の監視や警告。

(3) 自動ブレーキシステムによる衝突回避、遠隔停止。また、この監視システムから収集された多くの運転データを分析、ドライバー教育を実施した効果もあり、2018 年は事故件数を導入前の 50%以下まで削減させることができている。

□質疑応答

Ｑ：ドライバー監視システムを導入するにあたり苦労した点や課題は？

Ａ：３つの異なるプラットフォーム（ＧＰＳ、ＡＤＡＳ、自動ブレーキ）で構築されたシステムを導入したため、管理人員や部署が増えてしまった。今後の課題は、ひとつの管理プラットフォームを作ることと管理工数の削減である。

Ｑ：監視システムは本社による一極集中管理？

Ａ：安全に関わる部分は、メインを本社としている。支店でも見られるようにしているが、どちらかといえば車両管理がメインとなる。

Q：収集したデータによる安全につながる効果的な使い方。
A：車間距離の取り方による追突防止や予測運転などドライバーへの教育に利用している。日本とは安全に関する意識レベルも異なっており、データ活用による安全教育が重要である。

Q：監視システムを導入してからコストが削減されたのか？
A：車載器が 1 台あたり 2.5 万元（約 40 万円）で 2,200 台の車両に導入しており約 5,500 万元の投資を実施した。監視スタッフは本社、支店合わせて 35 名のコストがかかっている。事故防止に直接的な効果としては 2,000 万元/年くらいだが、事故により車両が使用できなくなることの間接的な削減効果もあった。また、今後も継続して削減される効果であり、費用対効果のある投資と判断している。

Q：車載器導入により、自動車保険料の削減効果の有無。
A：事故削減効果により、今年は 10%割引や各種サービスの提供があった。

Q：ドライバー監視によるドライバーからのクレームは？
A：法律上グレーゾーンの部分もあるが、導入当初から説明会などを重ね理解してもらっている。現在ではおおむね理解を得ている。

Q：システム導入による副次的効果は？
A：車載機メーカーと改善点などについて共有化することにより、720 度の車載カメラの製作ができた。またこの性能により、追突事故にも関わらず相手側の過失が証明された。

□所感

まず、総経理自ら出迎え・説明する歓迎姿勢は、素直に感謝の気持ち持つと共に、ビジネスマンとして見習うべき姿であると再認識した。

現時点で中国における「安全」に関する感覚は、日本の感覚とは大きく異なると感じた。中国経済の急速な発展により物流が急拡大し、躾を中心としたドライバー教育が追い付かない中、監視・警告・自動化の３システムによる対策は大変有効な手段であった。

日本企業のコンサル、視察など良い物を見て、積極的に取り入れる姿勢も、事故 50%減を達成した大きなポイントであるが、車載器の導入はドライバー監視よりも企業の自己防衛の側面が強いようにも思われる。

また、先進的な ICT を導入しながらも、監視、警告はまだ人力によるところが大きい。

今回の日本企業訪問記事が、翌日には社内イントラへ公開されていたが、このスピード感が中国ビジネスのスピード感であり、今後は監視プラットフォームの共通化、自動監視・警告機能の追加により省力化が進む日も遠くないのではないだろうか。

3．中国太平洋保険深圳分公司

□日　時：2019 年 6 月 5 日(水)　9:45～11:45

□場　所：福田区皇岗路 5001 号深业上城

□企業概要：

　中国太平洋保険は、中国第３位の大手保険会社であり、世界の保険トップ 500 のうち、220 位にランクインしている(2018 年)。

　深圳分公司(支店)では、WeChat によるセルフ保険支払システムの開発等、スマートフォンを活用した保険金請求業務を行い、適切で迅速な保険金支払いシステムを構築。社内評価も高く、イノベーション（新技術）を積極的に活用してお客様へよりよいサービスを提供するという取り組みが、業界内でもよく知られている。

　また同社独自に車載機とプラットフォームを開発し、自社の大手ユーザーに無料で貸出も行っている。システムを導入した効果として、事故率が５０％減少した実績あり。

□講演内容

・車載機およびプラットフォーム
・スマートフォンによる支払業務
・スマートフォンによる請求業務
・スマートフォンによる保険加入業務

□視察内容

・スマートフォンを活用した支払請求、支払業務
・独自プラットフォーム導入効果

　ミーティングルームにて、車載器を使ったリスクマネジメントシステム「太好保」と、本邦初公開となる、スマホだけで完結する保険契約と保険請求のサービスについて、ご説明をいただいた。

(1) 車載器を使ったリスクマネジメントシステム「太好保」

＜開発の経緯＞

　中国の発展とともに運送業が発展し、交通事故の増加が社会問題となってきており、保険会社の立場として、保険料を値上げするだけでなく、問題の解決策を模索してきた。

　日本への視察で、運送業では車載器等による車両管理が徹底されているだけでなく、ドライバー１人１人の安全意識が高く、自動車事故率が非常に少ないことに着眼し、運転スキルの問題よりも、ドライバーの安全意識と管理不足が原因であることを痛感した。

　お客様である企業に対して、ドライバーの安全レベルを上げて重大事故の発生を抑えるべく、日本で学んだノウハウと先端技術（車載器、ＡＩ等）を活用して、「太好保」というリスクマネジメントシステムを開発した。

＜主な機能＞

次の３つの装備により、交通事故を未然に防止する。

① 装備 1：本体
　ＧＰＳ情報をサーバーへリアルタイムに送信する。

② 装備 2）ＡＤＡＳ
　前車との距離、スピード、車線逸脱等を検知する。

③ 装備 3）カメラ
　ドライバー側を向いていて、顔認証 や 不良運転の監視を行う。

　ドライバーの顔や道路の状況をリアルタイムで監視し、危険を検知した場合は、管理者がドライバーに無線で警告を発することができる。
　危険運転を繰り返す悪質ドライバーは、ブラックリスト化して業界で共有している。
　顔認証はもともと、日本に視察した時に見た「点呼」という仕組みをＩＣＴ化したもの。
　今後のバージョンアップで、道路の制限速度をキャッチする機能も検討中。

＜導入効果＞
　企業がこの安全管理システムを導入して、事故を大幅に削減するように努めてくれれば、保険の払い出しも減らすことができるため、保険料を大幅にディスカウントすることも可能となり、WIN-WIN の関係を築くことができるので、保険会社としてもメリットが高い。
　政府にも高評価をいただき、市長からは、金融イノベーション第一等賞をいただいた。

(2) スマホによる自動車保険契約「ワンクリック申込」
　スマホの WeChat アプリを使って、保険契約を完結させることができるサービスである。
　次の４つのステップだけで、簡単に保険契約が完了する。

　Step1 情報入力　（名前、車の名前）

　Step2 ビッグデータにより見積表示。
　　不服があればビデオ会話を求める。問題なければ「確認」押下。

　Step3 顔スキャンを行い、手書きサインする。

　Step4 保険の管理部門による実名認証の後、WeChatPay で支払い。

入力項目が少なく、12 分で登録が完了する（うち 10 分は管理部門での実名認証）
WeChatPay に紐づけられた銀行口座により、オンラインでの実名認証を実現している。
また、必要な時しかビデオ会話による人的対応がないのが特徴。

Q：約款は？
A：画面に表示されるので「同意」ボタンを押す。

Q：重要事項説明は？
A：申込書面のイメージが表示されるので、そこに記載されている。

(3) スマホによる保険契約「１クライアント１バーコード」

WeChat の仕組みを利用して、自動車保険以外（宅配保険、傷害保険、家財保険）をスマホだけで簡単に契約できるサービスである。

次の４つのステップだけで、簡単に保険契約が完了する。

Step1 WeChat から QR コードをスキャンする

Step2 WeChat からの自動入力の「許可」ボタンを押す

Step3 WeChatPay にて支払い

Step4 契約内容を確認（いつでも可能）

今は３商品だけだが、他にニーズがあれば実現可能。

※宅配保険は、宝石や電子部品等を送るときに、よく使われる。

※宅配保険は申込が事の起こった前後のどちらかがよく問題になるが、WeChat 情報で申込日時を証明することが可能になり、後付け契約を防止できる。

(4) スマホによる保険請求「WeChat によるオンラインセルフ請求」

主に、少額の自損事故の保険請求と受取を、スマホだけで簡単に完結できるサービスである。個人向けと法人向けのサービスがある。

＜個人向け＞

車のオーナーは、事故現場ですぐに QR コード読取って申込みをすると GPS で場所が自動検知され、必要ならオペレーターと会話した後に WeChatPay で保険料が即時に入金される。

＜法人向け＞

整備工場を経由し、リアルタイムで動画撮影・アップロードを行い、審査を行う。

※必要に応じてオペレーターとテレビ通話での会話も可能

上記共に、利用者は手間が少なく、最短で保険金を受け取れる。自社は介在する人手を省くことで人件費の削減が可能となった。

Q：個人向けの WeChat アプリでの写真撮影をエビデンスとする場合、プレートを同機種のボロボロの車両へ付け替えて申請し、過剰な保険金を受け取る等の詐欺に利用される心配は無いのか？　またどのような対策を講じているのか？

A：個人向けのアプリ申請（オンライン申請）の場合は少額支払のみを対象としているため、質問のような事象は整備工場へ車両を入れる必要があり、詐欺等の行為を防いでいる。

□所感

保険会社としての領域を超え、積極的に事故未然防止に取り組み、社会貢献をされていた。その中でも、独自で開発された車載機やプラットフォームは大変興味深く、まだ日本でシステムを取り入れられていない企業に対して紹介していきたいと思った。

前述の２社の視察でも取り上げられた、車載器の活用が印象に残った。当初、なぜ視察先に保険会社があるの当初、なぜ視察先に保険会社があるのか不思議に思っていたが、太平洋保険でプレゼンテーションを伺って納得した。業種の違いを飛び越えて解決していく様は見習うべき事かと思う。日本への視察で、表面的な仕組みだけでなく、点呼、声がけ、指針の

提示といった「安全意識」の精神を学んでシステムに取り入れたという点に感銘を受けた。

中国では、ドライバーの身代り運転等、日本では想像できないような事情があり、それに応じた機能が随時盛りこまれていることが理解できた。日本でも今後、高齢者ドライバーや外国人ドライバーの増加に備えて、それに対応した機能が必要とされてくると思う。

物流業界では、事故の撲滅が必ず挙がっており、どう対策を行えば事故が撲滅できるのか悩んでいる企業が多く存在する。多くの企業では、システムを導入しても事故は減少できず、結局はドライバー本人の問題と位置づけられている感がある。確かに事故の原因の大部分はヒューマンエラーと言われているが、そのヒューマンエラーをゼロにする事は現状困難だと思う。ただ、少しでも軽減させる努力を怠ってはならないと痛感している。仮に事故が発生した場合、関係者全ての人達が不幸になる。事故を未然に防止できたとしたら不幸にみまわれる事はなく、自分自身は感じないが、結果的に幸福となる気がした。日本の企業に対しシステム導入をためらっている場面に遭遇した際は、今回の中国視察で学んだ事を伝え背中を押せる様にしていきたいと思う。

中国太平洋保険深圳分公司及び深圳市政府が、仕組みから取得した情報を業界で共有すること更にはブラックリストを作ってしまうところに感銘を受けた。これは、政府の支援があるから＋中国の文化であるから成り立つことであって、日本ではここまでの情報共有は不可能である。

日本は情報の扱いが非常にデリケートである部分も一つの要因だが、民間で行う場合、どこの企業もプラットフォーマーになりたがるため、様々なサービスが乱立し、情報が一つにまとまらない。現在日本で乱立している決済の仕組みがまさしくその例になるが、複雑かつ使い分けが面倒な仕組みに利用者が利便性を感じない。深圳市政府が企業を支援するように、日本もある程度共通したプラットフォームを構築する必要性がある場合は、政府の支援が必要とする手も一つかと強く感じる内容だった。

中国では、日本とは異なり、保険料の基準価格というようなものがなく、相対での個別見積のため、見積額がシステム的に計算されるのは良いことだと思う。また、スマートフォンを活用した保険の申し込み等は納得の便利さであった。ただ、それを支える ICT プラットフォームは中国のお国柄が見えると思う。

日本ではお目にかかれない中国太平洋保険深圳分公司の取り組みとして、業務が異なる各階毎にスローガン（60 階の戦略部門は、“イノベーション”、59 階のシステム部門は、“品質”など）を壁に貼って、社員が一つになる働きかけとその姿が強く印象に残った。

4．SWIVEL 社

□日　時：2019 年 6 月 6 日(木) 9:30～11:30

□場　所：Honk Kong Science Park
香港特別行政区政府が 15 億米ドル（約 1,650 億円）を投じて香港新界地区沙田に建設している研究開発（R＆D）センターである。

□企業概要：

運送業者/輸出入事業者向けのソフトウェア(コラボレーションポータルや購買管理、e コマース、運送のための ERP システムを統合した SWIVEL360)を提供している。

この分野で 20 年以上の勤務経験を持つ専門家でメンバーが構成されており、顧客のニーズに対して最適なソリューションを提供する技術者集団である。

SWIVEL 社の強みは、最新技術を有した開発者が顧客に耳を傾け、単なるパッケージではなくソリューションを売ることができる点にある。

□講演者：

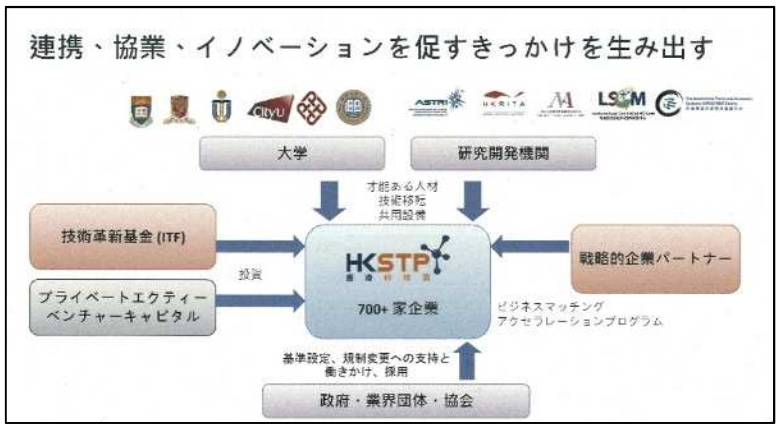
香港サイエンスパーク：Mr. Spencer Chan, Sales Manager
SWIVEL 社　：　CTO　Dr. Donny Lai
(SWIVEL360)　Mr. Steve Lo
(300Cubits)　Mr. Jonathan Lee

□視察内容

(1) 香港サイエンスパーク

イノベーションとテクノロジーへの政府予算（2018/2019）は、HK＄508 億と非常に積極的である。サイエンスパークを中核とした技術力向上としては、特に AI、スマートシティ、バイオテクノロジー、フィンテックなどを重点技術分野と位置付けている事と、産業クラスター形成による競争力向上も狙って、近年では医療技術、材料・精密工具、環境保全技術、情通信技術、電子工学等が対象の技術と考えている。イノベーション創出においては、人材や技術の観点で大学や研究開発機関と連携、資金調達においては技術革新基金やプライベートエクスティー、ベンチャーキャピタルと連携、また知的企業とのパートナーシップや政府・業界団体・協会とも連携を図っている。

そして、インキュベーション（企業支援）にも積極的で、支援の手段として、短期研修、インターンシップ、ビジネス評価、集中プログラム、戦略コンサルティング、企業組織構築支援、エンジェル投資などがあり、



企業支援の成果としては、卒業した企業が 613 社、事業継続中の企業が 476 社、上場した企業が 4 社となっている。

□質疑応答

Q：日系企業が進出する際に一番問題となる点は？言語？文化？

A：香港は、多文化が混在する国なので大きな問題はない。昨年は香港から日本に 230 万人が行っている。香港の人口は 700 万人なのでいかに多いかが分かる。

Q：香港政府からの支援を享受するには、本社を香港に移転する必要があるか？

A：必要はない。支店のみで問題ない。

(2) SWIVEL360

注文管理を可視化する購買管理、在庫管理を行う倉庫管理、航空/海上/陸上物流を管理する ERP の３つの機能を統合管理できるツールである。このツールにより、運輸に関係するステークホルダーがリアルタイムで、積荷のステータスを確認することができるようになる。

運輸業務をワークフロー上で管理することにより、各工程において利用者に通知を発行し、担当者に作業を促したり、工程毎に注意を促したりすることができる。

(3) 300cubits

海運業でのブロックチェーン運用事例で従来からの課題として、海運業者にとっては空予約(No-Show Booking)、顧客にとっては予約したのに船積み出来ないという課題があり、毎年 US$230 億の損失があると言われている。300cubits は、TEU トークンというブロックチェーン暗号化通貨を予約保証に用いることにより、これらの課題を解決しようとする先進的なソリューションである。TEU トークンを利用することにより、海運業者は管理業務に注力し、顧客は納期を守ることができるようになる。また、300cubits はブロックチェーン上で契約処理サービスを提供することにより、交わした契約はセキュアに管理され、改ざん不可という性質を持っている。活用事例として、シンガポール～台湾便において、三井物産と MCC 間で利用された例が紹介された。

□質疑応答

Q：TEU トークンの価値が変動するとが、どのように保証するのか？

A：TEU トークンは通貨としてではなく、契約の証左として利用しているので問題ない。

□所感

ブロックチェーンがインパクトを与える可能性が高い領域の 1 つとしてサプライチェーンが注目されていること、特に電子データ交換（EDI）に代わって関係者の間で迅速かつシームレスに契約情報を送信できるようになる可能性があると考えられていることは聞いたことがある。しかしながら、実際の事例については耳にしたことがなく何処か遠い場所の技術であると感じている部分もあった。

今回の訪問では、300cubits という具体的なソリューションとそのリスクを減らし、可視性を高める効果を知ることができ、大変貴重な情報を得ることができたと感じた。

香港サイエンスパークでは、入口にある巨大な楕円形の建造物（写真）に圧倒された。中はどうなっている？SWIVEL 社の説明を聞く中で人財を育成する風土を高めること、顧客視点でモノづくりを行うこと、強みを活かしたサービスを伸ばすことは万国共通と感じた。

中でも、なかなか日本でも銀行業界以外で話題にならないブロックチェーンを海運業のマッチングに活かしていることは大いに参考になった。また、積極的な企業支援アプローチを行う事で香港という国をビジネスの世界において少しでも高い位置に引き上げたいという熱量を感じた。そして、このサイエンスパークそのものが、各種設備が充実しており景観も良く、若い人も多く活気に溢れた、素晴らしい場所だと感じた。

SWIVEL 社については、課題解決に対してブロックチェーンの概念を取り込んだ事について発想力とチャレンジ精神を持った企業だという印象を受けた。また自社の強みとして「私たちはシステムでは無くソリューションを売っている。耳を傾け皆様と共に働く。」等を敢えてあげた事について、その裏側には自社の技術力に対する自信とプライドを感じた。

仮想通貨という意味では、現状弊社での利用シーンは思いつかないが、今後どうなるかわからないので、今回の研修をきっかけに今後も動向をウォッチしていきたいと感じた。

また SWIVEL 社では、日本では難しい仮想通貨を活かした業務がとても興味深く説明を聞くことができた。ブロックチェーンを使用することで、特定の管理者による独裁的にコントロールされないのも大きなメリットだと感じた。

特定の金融機関を介さないことによって海外の送金コストが大幅に削減できることである。通常であれば、金融機関を経由することでいくらかの手数料が発生するが、ブロックチェーンを活用することでそれが回避できると感じた。

2019 年度 FUJITSU ファミリ会海外セミナー（中国[深圳(シンセン)、香港]）報告書
発行年月：2019 年 6 月発行
編集発行元：FUJITSU ファミリ会 本部事務局
[富士通株式会社　カスタマーリレーション部内]
〒105-7123　東京都港区東新橋 1-5-2　汐留シティセンター
TEL: 03-6252-2253
FAX: 03-6252-2798
URL: http://jp.fujitsu.com/family/

Copyright © 2019FUJITSU ファミリ会 All Rights Reserved.